

野々市フォーラム

活動の期間	調査研究、研修、 要望・陳情の場所	活動の種類	報告書のページ
令和4年5月9日から 令和4年5月13日まで	滋賀県大津市	研修	P 2
令和4年11月15日から 令和4年11月16日まで	青森県八戸市 東京都港区	調査研究	P 4
令和4年12月22日から 令和4年12月23日まで	東京都千代田区	要望・陳情	P 9

令和4年 5月 20日

野々市市議会議員 様

(報告者)

会派名〔又は〕 野々市フォーラム
 代表者〔議員名〕 早川 彰一



政務活動報告書

下記のとおり政務活動（調査研究、研修、要望・陳情）を実施したので、報告します。

期 間	令和4年 5月 9日から 令和4年 5月 13日まで
視察、研修、要望・陳情の場所	公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所
参加者氏名	向田誠市・朝倉雅三
目 的 (調査・視察事項)	令和4年度市町村議会議員研修〔5日間コース〕 「新人議員のための地方自治の基本」
調査・視察概要	<p>(目的、内容、結果、所感等について記入)</p> <p>目的：地域住民の期待と信頼に応えるために、社会情勢の変化や地域の諸課題、住民のニーズの把握に加え、地方議員が理解しておくべき地方自治に関する諸制度や基本的事項を講義や演習を通じて学ぶ。</p> <p>内容：研修初日は、開校式、開校・入寮オリエンテーションの後4人のグループに分かれ、研修所より出された4項目のテーマで自己紹介と話し合いをする。</p> <p>二日目は、「地方自治制度の基本について」と「地方議会制度と地方議会改革の課題について」の座学を受講する。</p> <p>三日目は、「地方議会と自治体財政」についての座学を受講後、演習で意見交換・質疑応答を行う。</p> <p>四日目は、午前中「地方議員と政策法務」の座学を受講後、午後からは、「条例演習・意見交換」の後「発表・全体討議・まとめ」を行う。</p> <p>五日目の最終日は「これからの自治体議員に期待されていること」の座学を午前中に受け、その後閉校式が行われ研修終了となる。</p> <p>結果：研修内容については、講師の先生方により「非常にレベルの高い内容で、把握出来る部分と把握しにくい部分」とがありましたが、我々一期議員にとっては大変勉強になり今後の議員活動に活かせる研修会でした。</p> <p>所感：私たち一期議員にはコロナ禍の長期化により、他県に出向くことも儘ならず、市町村</p>

	<p>議員と意見交換をする機会もなく、他市町村の地方自治状態を把握する事もできず、「井の中の蛙大海知らず」状態でしたが、今回の研修で他県の市町村議員と意見交換をすることで、「各市町村が抱えている課題内容」等を把握することができ、「本市がいに恵まれた自治体」であるかを知り、今後の参考にすることができました。</p> <p>私が今回意見交換しました30名弱の議員さんの全てが「少子高齢化問題による人口減少で自治体の存続危機問題」「公共施設の修繕費及び建替え予算確保が困難状態」「子育てと福祉問題」等、自治体に密接した重大な問題案件が山積、直面している事態を回り知ることもでき、大変有意義な研修となりました。</p> <p>本市としても、今後も多くの議員の皆さんに研修会に参加して他縣市町村の実態を知り、何れ本市にも降りかかって来るかもしれない同様な問題について、意見交換を通して勉強していただければと思う次第です。</p> <p>(報告書作成者：向田 誠市)</p>
備 考	

※記入欄が不足する場合は、欄を広げる等適宜調整してください。

令和 4 年 12 月 2 日

野々市市議会議長 様

(報告者)

会派名〔又は〕野々市フォーラム
 代表者〔議員名〕早川 彰一



政務活動報告書

下記のとおり政務活動（調査研究、研修、要望・陳情）を実施したので、報告します。

期 間	令和 4 年 11 月 15 日から 令和 4 年 11 月 16 日まで
視察、研修、要望・ 陳 情 の 場 所	青森県八戸市大字尻内町字三條目 7-7 フラット八戸 東京都港区海岸 1-11-1 東電タウンプランニング株式会社
参 加 者 氏 名	早川彰一、辻 信行、安原 透、馬場弘勝、北村大助、向田誠市、 小堀孝史、朝倉雅三
目 的 (調査・視察事項)	<p>【フラット八戸】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フラット八戸（多目的アリーナ）の施設概要レクチャー ・建設に至る経緯とその過程について <p>【東電タウンプランニング株式会社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献型電柱広告の各自治体協定について ・無電柱化・地域開発事業について
調査・視察概要	<p>【フラット八戸】</p> <p>八戸市は、スケートに関わってきた歴史が長く、古くは明治時代から、スケートの各種大会が開催され、また冬期国体も 2 回開催されています。視察日の視察時間においても、スケートの授業で小学生が先生の指導を受けていました。このような背景から、常設リンクを備えたフラット八戸が民設民営方式で開場しました。アイスホッケーチーム「東北フリーブレイズ」は、八戸市をホームとし活動しており、有名フィギュアスケーターのアイスショーも開催しています。</p> <p>フラット八戸は、通年アイスリンクが使用できる施設ですが、リンクに断熱材を敷き詰め、バスケットボールチーム「青森ワッツ」のホームゲームを開催し、また e スポーツイベントの開催にも使用されています。</p> <p>広く確保したエントランスでは企業展示会、屋外広場ではマルシェ</p>

や朝市を開催し、館内外の各エリアを複合的に活用することで相乗効果の創出がされています。

民間企業設計であるため、不要な会議室などは無く、広く確保したエントランス、屋外広場を有効に活用なされています。

説明の中において、八戸市の小学生が平成27年より14%減となっており、今後の人口減少による利用者減少は避けられず、早めの対応策を検討するとのことで、このことは野々市市も例外でなく、人口減少も視野に入れた施設としなければならないと感じたところです。また本市には、プロスポーツのクラブチームも無く、市民の利用を中心とした施設であるべきと考えました。

【東電タウンプランニング株式会社】

東電タウンプランニング株式会社は、「無電柱化・地域開発事業」「広告事業」「配電事業」を中心に、お客さまの「まちづくり」を支えています。

各事業で培った技術・ノウハウの活用とシナジーを発揮してサービスの付加価値を高め、地域社会やお客さまのニーズを敏感に感じ取り、それに応える新しいサービスにも挑戦しています。

会社設立は2001年8月・資本金1億円であり、本社以外に管内に10総支社を含め30事業所で活動しています。

1. 無電柱化・地域開発事業の事業内容

無電柱化・インフラ整備のコンサルティングと工事実施であり、管内のほとんどの自治体と協定を締結しています。

無電柱化するには、柱上の機器を路上に設置する必要があります。

- ・電気の流れを切り替える柱上開閉器→多回路開閉器
- ・家庭用に電圧を変換する柱上変圧器→地上用変圧器

(1) 地中化（地下空間を利用して道路から電柱を無くす）

①電線共同溝方式

- ・電力線や通信線等をまとめて電線共同溝に収容する
- ・「電線共同溝の整備等に関する特別措置法」に基づく
- ・道路管理者が電線共同溝を整備
- ・電線管理者が電線・地上線を整備
- ・電線共同溝の設備概要：電力設備・通信設備の両方を収容
- ・事業費の費用負担割合：総額は約5.3億円（国交省試算）

道路管理者負担：電線管理者負担=2：1

道路管理者負担：電線共同溝

電線管理者負担：ケーブル、地上線路、建設負担金

②電線共同溝以外の方式

- ・自治体管路方式、要請者負担方式、単独地中化方式の各方式がある

(2) 地中化以外の無電柱化

①軒下配線方式（建物の軒などを活用：金沢の茶屋街など）

②裏配線方式（裏通りに電柱、配線を移設）

(3) 無電柱化の効果（通行路、都市災害、景観、地域振興）

①通行路確保（安全で快適な通行空間を確保）

- ・歩道が広くなり通行空間のバリアフリー化ができる

②都市災害防止（電柱の倒壊・電線の垂れ下がり無し）

③景観向上（電線が見えなくなり美しい街並みが形成）

④情報通信ネットワークの信頼性向上（回線の被害軽減）

⑤地域振興（無電柱化により街・地域を活性化できる）

(4) 無電柱化の課題と取組

①課題

- ・コストが高い
- ・事業期間が長い
- ・関係者との調整に時間がかかる

②今後の取組

- ・電力会社のノウハウ・経験を生かし、既存埋設物（既存ストック）を活用して電線共同溝を構築する。占用施設の管路・マンホール、ハンドホール等活用
- ・期待できる効果として、支障移転が削減、施工規模が縮小、工期短縮、整備費用の縮減など

2. 広告事業の事業内容

(1) 地域貢献型広告

①事業概要

- ・自治体と掲出する内容等について協定を締結する
- ・管内の自治体との協定はほぼ完了

②自治体のニーズに応え、地域防災・交通安全・防犯の情報を表示

③メリット

- ・地域防災対策や自治体のまちづくりのサポートに貢献
- ・企業イメージの更なるアップに貢献

④料金

- ・公共普通型表示（市役所の位置表示等）：有料

広告費：1個で通常2,200円～6,600円から220円引き

制作費：1個で通常17,600円のところ11,000円

(2) 電柱ラッピング

①概要

- ・インクジェット出力した大型シートを巻き付けて表示
- ・模様等の「景観調和型」と、公共施設・避難場所等を表示した「公共表示型」がある

②メリット

- ・道路上で連続的に設置が可能
- ・大型でインパクトのある表示が可能
- ・定期点検により美観の維持が可能
- ・設計施工・メンテナンス一括実施で、自治体の維持管理が軽減
- 路上設置時には、各種法令・条例をクリアする必要があり、自治体での調整協議が別途必要になる

③料金(10基同時取付作業時の1基当たりの単価(サイズH3,900mm))

- ・製作取付(撤去)作業費:147,000円(税別)
- ・設備利用料:1,200円~5,200円(税別)

(3) 地上機器ラッピング

①地中化個所の地上機器を有効活用して情報を掲示

- ・大人目線より低い高さに設定でき、子どもの防犯・災害対策に貢献

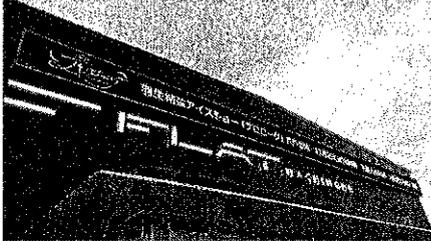
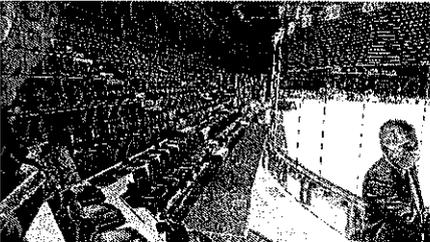
②メリット

- ・目的に応じて掲出場所を選定可能
- ・人通りの多い場所にある機器は、効果的にPR可能
- ・案内地図の表示も可能
- ・点検清掃は東電タウンプランニング株式会社が実施

③料金(10基同時取付作業時の1基当たりの単価(サイズH3,900mm))

- ・表示取付作業費:160,000円(税別)程度
- ・設備利用料:7,000円(税別)程度(1回/年)

●今回の行政視察を終えて、東電プランニング株式会社は、主な3つの事業を中心に、東京電力で培った高い技術力を生かし、常に安全なまちづくりに貢献する企業姿勢を貫いていることを感じました。

<p>参考写真</p>	<p>フラット八戸①</p> 	<p>フラット八戸②</p> 
	<p>フラット八戸③</p> 	<p>フラット八戸④</p> 
	<p>東電タウンプランニング株式会社</p> 	
	<p>備 考</p>	

令和5年 2 月 21 日

野々市市議会議長 様

(報告者)

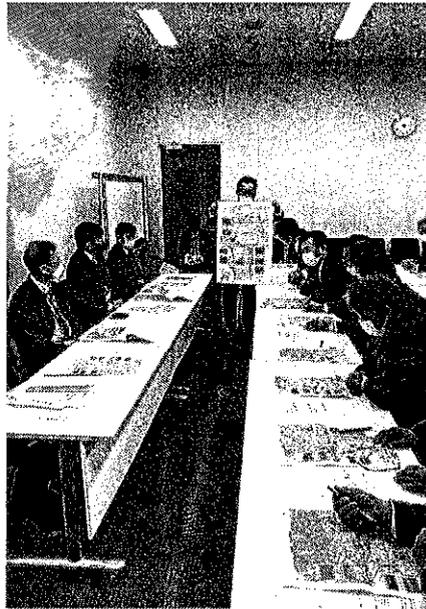
会派名〔又は〕 野々市フォーラム
 代表者〔議員名〕 早川 彰一



政務活動報告書

下記のとおり政務活動（調査研究、研修、**要望・陳情**）を実施したので、報告します。

期 間	令和4年12月22日から 令和4年12月23日まで
視察、研修、要望・ 陳情の場所	衆議院第二議員会館
参加者氏名	早川彰一 辻 信行 安原 透 馬場弘勝 北村大助 向田誠市 小堀孝史 朝倉雅三
目 的 (調査・視察事項)	国の新年度予算編成に向けて、野々市市における土木事業について継続中および新規について資料を用いて説明し、また二河川について改修事業の促進を要望し理解を得た
調査・視察概要	<p>(目的、内容、結果、所感等について記入)</p> <p>衆議院第二議員会館会議室</p> <p>出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省都市局 市街地整備課 企画専門官 峰寄 悠 ・国土交通省都市局 街路交通施設課 企画専門官 神山 泰 ・国土交通省都市局 公園緑地・景観課 公園利用推進官 曾根直幸 <p>【重点事業】</p> <p>1. 市事業関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 西部中央土地区画整理事業 (R4 補助事業完了) 進捗率 65% ② 中林土地区画整理事業 (R4 補助事業完了) 進捗率 46% ③ 都市計画道路：高尾郷線 ④ 都市計画道路：野々市中央公園西線 ⑤ 野々市中央公園拡張事業 (新規 R6～) <p>2. 県事業関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 高橋川改修事業の促進 (野々市市行政界から上流部) ② 安原川改修事業の促進 (JR 北陸本線横断区間および馬場川放水路)



←衆議院第二議員会館会議室において説明

岡田直樹国務大臣政務官室
面談・要望 ↓



↑
西田昭二国土交通大臣政務官
執務室



↑
宮本周司経済産業大臣政務官執務室

※別添資料図有り

備 考

※記入欄が不足する場合は、欄を広げる等適宜調整してください。